



タイ法人が入るビル

### 澤村

澤村(大阪市中央区) 品販売から撤退してトリスを捉えて事業拡大に成功した。

が大半で、欧米からの「日ムラ・トレーディング」が本製が欲しい」というニーズを捉えて事業拡大に成功した。今後も無理な拡大は志

念頭に中国やタイ、ベトナムなどでアジア事業の拡大を狙っている。

## 中・タイ・越で生地生産

### ベトナム拠点設立も検討

田中一志執行役員営業 本部長代行によると上海法人の2019年12月期は赤字だった。累積損失も一掃できたがその要因は、数年前にインナー製

防水コーティングした裏地と、サポーターなどからシニア拡大を狙う。最終ユーザーは欧米 一方、タイ法人のサワ

ムラ・トレーディングへ7年前の設立以降順調に拡大しているものの、利益面では苦戦が続く。回国独自の会計制度や人件費といった付帯経費がかさんでおり、黒字化が当面の目標になる。改善に向けて日本人スタッフの減員と出張による応援体制の強化を図っている。

ベトナムでも生地生産のオペレーションが進展中。トリコットのシャツ地や裏地をニッター、染工場と協業して生産する事業で、現状は全て対日縫製品向け。将来的には欧米やアジア各国向けも狙う。そのため同国で事務所設置を計画する。生地だけでなくインナー製品などの縫製品事業も今後可能性を探る。

新型コロナウイルスについては、「これから影響が出てくるだろう」と危機感を示し、特に縫製品事業でマネーナスの影響を懸念する。